

2024年 6月20日

緒方小保護者 様

豊後大野市小中一貫教育校緒方学園
緒方小学校 校長 佐藤 公彦

大雨・落雷等 災害が予想される場合の対応について

梅雨に入り、再び各地に甚大な被害をもたらすのではないかと心配になります。毎年のように犠牲者が出ている豪雨災害に、自分や家族の身を守る積極的な対応が必要な状況になっています。

豊後大野市立幼小中学校の対応については、豊後大野市教育委員会から2024年6月17日付文書で次のよう
にお知らせしました。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">警戒レベル4が発令された場合……自宅待機<ol style="list-style-type: none">子どもたちが自宅にいる場合（夕方から夜）
翌朝は「自宅待機」とします。
ただし、午前9時以降にレベル4が解除された場合はそのまま臨時休業とします。子どもたちが学校にいる場合
気象状況を確認しますが、下校措置をとります。（※下記参照）警戒レベル5が発令された場合……臨時休業<ol style="list-style-type: none">子どもたちが自宅にいる場合（夕方から夜）
翌朝は「臨時休業」とします。子どもたちが学校にいる場合
直ちに下校措置をとります。また、保護者との直接引き渡しを原則とします。
ただし、危険状況を判断し、学校待機を行う場合もあります。（※下記参照） |
|---|

緒方小学校では上記に加え、危険状況を判断し、「子どもたちが学校にいる場合」次のように対応を行う場合も
あります。

- 警報レベル4が発令…保護者等との直接引き渡しを原則とします。
ただし、危険状況を判断し学校待機を行う場合があります。
- 警報レベル5が発令…学校待機後、警戒レベル5が解除されれば、安全確認後、保護者等との直接引き渡しを
原則とした下校措置をとります。

また、記以下についてもご確認の上、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 臨時休業等のお知らせについて
 - 「臨時休業」「自宅待機」等の措置をとる場合は、学校から安心メールで一斉に連絡します。
- 保護者の皆様へのお願い
 - 気象庁等から警戒レベルについての情報提供があった場合は、臨時休業等の可能性が高まりますので、それぞれのご家庭で、対応の準備（子どもあずけ先・食事等）をお願いします。
テレビ（データ放送）やインターネットなどを通して、気象や警戒レベルについての情報収集を行うようにしてください。豊後大野市防災アプリの登録をお勧めします（@InfoCanal アットインフォカナルで検索）。
 - 引き渡しを行う際にはマニュアルに沿って行います。配付済みの「保存版・緊急時児童引き渡しマニュアル2024」をご参照ください（緒方小ホームページにも掲載しています）。
 - 「自宅待機」には安全な場所に避難することを含みます。
- 他の施設との情報共有について
 - 市立の幼小中に伝えられる休業等の内容については、市よりこども園等にも知らせることになりました。
しかし、対応については、それぞれの施設が独自に判断しますので、各自で情報の確認をするようにしてください。

裏面もご覧ください

*裏面を含め、対応等につきましてはこれらを原則としますが、状況により異なる場合があることをご理解ください。

急な大雨、落雷が登下校時に発生する、あるいは発生が予想される場合の対応についてお知らせします。

急な大雨、落雷、竜巻・突風は積乱雲の発生に伴うものです。これらは、水平規模10km前後の局地的で、1時間程度の短時間の現象です。

発達した積乱雲がもたらす大雨は、雷を伴って短時間に狭い範囲で激しく降ります。降り始めからわずか10分程度で中小河川が増水したり、低地が冠水したりすることもあります。

雷は、積乱雲の位置次第で、平野、山、海面など場所を選ばず落ちます。また、周囲より高いものほど落ちやすいという特徴があります。グラウンド、平地等の周囲の開けた場所にいると、積乱雲から直接人体に落雷（直撃雷）することがあります。また、落雷を受けた樹木等のそばに人がいると、その樹木等から人体へ雷が飛び移ること（側撃雷）があります。木の下で雨宿りなどをしていて死傷する事故は、ほとんどがこの側撃雷が原因です。

線状降水帯は、次々と発生した雨雲（積乱雲）が列をなし、組織化した積乱雲によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することでつくり出される、線上に伸びる強い降水を伴う雨域のことで、近年の豪雨災害の原因となっています。

これらに備えるには、日頃からテレビ（データ放送を含む）やインターネットで気象情報を収集することが大切です。

積乱雲が近づくきざしとは、次のような状況になったときです。

- ・ 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる
- ・ 雷鳴が聞こえたり雷光が見えたりする
- ・ ヒヤッとした冷たい風が吹き出す
- ・ 大粒の雨や「ひょう」が降り出す

学校では、登校前や登下校中に大雨、落雷などの気象変化や災害が予想される場合にどうすればよいかについて、児童の安全確保のため、下記のように指導しました。

①（家を出る前）災害や危険が予想される場合は登校時刻を遅らせる。

大雨や雷、積雪、交通遮断などのために登校途中に身の危険が予想される場合、登校が困難な場合は無理をせず自宅待機。安全な状況になってから登校する。その場合、学校に電話またはメールで連絡をする。

（学校からの安心メールで、登校時刻を遅らせる旨の連絡が入った場合は不要）

②登下校中の場合、安全な場所へ避難する。

雷の音がしたらすでに危険な状況です。登下校中の場合は安全な建物の中に避難します。木の下での雨宿りはしません。雷が飛び移ることがあるので木や電柱から4m以上離れます。

大雨の場合も安全な建物内に避難します。増水の危険性があるので川や水路から離れます。水がたまっているところは通りません。

「こども連絡所」が近くにあれば助けを求めます。

③2次災害から身を守る。

大雨がおさまっても、増水した川や水路には絶対に近づきません。

浸水した道路では、側溝がわからなかったりマンホールのふたが外れているのが見えなかったりすることもあるので、通らないようにします。

傾斜地では崖崩れ・地滑りの発生を考え、危険な場所は通りません。

崖からぱらぱら小石が落ちてくる。崖の上の木が揺れたり傾いたりする。

山の木がざわざわする。地鳴りがする。崖にひびが入っている。

→すばやく逃げる

急激な気象変化の場合など、安心メールや電話連絡が間に合わなかったり送れなかったりする場合もあります。身の安全が第一ですので、危険を感じた時は絶対に無理をしないよう、ご家庭での判断で身を守ってください。また、登下校時の注意点についてもご指導をお願いいたします。